資料６

今後の協議会で検討願いたい事項

＜野生鳥獣等対策連絡協議会、エゾシカ・ヒグマ対策連絡協議会＞

①　河川の樹木伐採に関する必要範囲など

■各市町村の意見を踏まえ協議会にて検討願いたい。

・クマの侵入抑制や見通しをよくして突発的な遭遇を減らす観点から、河川の樹木伐採や下草の刈り払いが必要と考えられる範囲は、住宅地や河川に隣接する道路等から最低でも何m程度離れた場所まで必要と考えられるか

②　河川の樹木伐採に関する優先順位など

■各市町村の意見を踏まえ協議会にて検討願いたい。

・各地でヒグマが市街地に出没し、河川が移動経路となっているケースも見受けられるが、樹木伐採を行う場合の優先順位として、市街地を急ぐべきか、侵入経路を遮断する上で、山地と市街地の堺を急ぐべきか、又は他の考えがあるか

③　伐採した樹木に関する市町村における廃棄物の取り扱いなど

■各市町村にて検討し、協議会にて共有願いたい。

・例えば、市町村独自の取組として、ヒグマ対策として実施した公募型樹木採取の試行分についての一般廃棄物受け入れ費を免除するなど、取組拡大の工夫

④　バイオマス関連施設との連携に関する情報共有など

■関係する各市町村にて検討し、協議会にて共有願いたい。

・河道内樹木の大半を占めるヤナギ類は水分が多く需要が低い現状であるが、受け入れ事例などの情報提供や工夫

⑤　森林関係者における河川の樹木伐採の実施可能箇所など

■森林管理局、林務課等の森林関係者にて検討し、協議会にて共有願いたい。

・森林管理区域と連続する一体的な区域など、森林関係者にて河川の樹木伐採が実施可能な箇所の提案